

大正五～九年、多くの方々が本堂建立に向けて寄付をして下さいました。『旭川別院百年史』をもとに、当時飢饉で苦しい生活を強いられていたにもかかわらず、本堂建立にご尽力下さった方々のお名前を紹介したいと思います。

※今回だけでは書ききれませんので、数回に分けて記載します。

※当時の佛具と現在の佛具の値段を比較すると、当時の壹円は今では壹万円に相当する事が判りました。

一金壹百参拾円也	坂口 彦左工門	一金壹百 円也	岩田 藤一郎
一金壹百参拾円也	北 小右工門	一金壹百 円也	村中 市左工門
一金壹百参拾円也	宗萬 常治郎	一金壹百 円也	川田 幸治郎
一金壹百参拾円也	清水 栄太郎	一金壹百 円也	伊藤 新兵衛
一金壹百貳拾円也	福田 茂吉	一金壹百 円也	小林 新六
一金壹百貳拾円也	縄江 庄市	一金壹百 円也	阿部 丹之助
一金壹百貳拾円也	杉谷 久吉	一金壹百 円也	松田 助次郎
一金壹百貳拾円也	滝見 弥吉	一金壹百 円也	坪田 与三吉
一金壹百貳拾円也	高田 清三郎	一金壹百 円也	吉岡 栄太郎
一金壹百貳拾円也	小林 新松	一金壹百 円也	田畑 為治郎
一金壹百貳拾円也	荒岡 佐蔵	一金壹百 円也	山本 常松
一金壹百貳拾円也	芸下 文右工門	一金壹百 円也	水野 洋
一金壹百 円也	大阪 芳太郎	一金壹百 円也	田中 要蔵
一金壹百 円也	水内 幸治郎	一金壹百 円也	上野 駒吉
一金壹百 円也	今井 藤作	一金壹百 円也	澤田 勇吉郎
一金壹百 円也	河野 政吉	一金壹百 円也	稲垣 芳蔵
一金壹百 円也	大家 義松	一金壹百 円也	星野 松太郎
一金壹百 円也	山本 定治郎	一金壹百 円也	佐々田 良之助

敬称略

別院しらべ隊

調査報告書No.8 新たなる想いを胸に

宗祖親鸞聖人750回御遠忌記念事業の準備始まる

2010年7月初旬に旭川別院の大門前・大谷ホール正面・国道沿いの塀の3カ所に看板を設置いたしました。又、7月中旬には本堂等改修工事の決定を受けて旭川別院のご門徒、道北地区の真宗大谷派寺院に『旭川別院・宗祖親鸞聖人750回御遠忌にむけて』というパンフレットを配布させていただきました。

別院しらべ隊の調査報告書で本堂や大門等は悲鳴をあげていると訴えてきましたが、ようやく大まかな施工期間が決まりました。これもひとえにご門徒を代表して集まっていた専門委員会の皆様や各関係者の方々のおかげであると感謝申し上げます。



お知らせ

8月1日～20日の間、以前本堂屋根裏から発見した「木札」等を新納骨堂1階受付前に展示いたします。この「木札」は大正九年頃のもので、当寺本堂建立に向けて寄付をしていただきました方々のお名前を記入した大変貴重なものであります。

90余年たった今でも、木札と共に先達の想いがそのまま残っているように感じる事が出来ます。是非ご覧下さい。

次回もお楽しみに(^_^)!

調査員：草部・垣原・横井よ・長尾・高橋

改修委員会の流れ及び決定事項

- 2008年5月 院議会にて本堂等改修委員会設立承認
- 2008年6月 第1回本堂等改修専門委員会 委員会発足
- 2009年5月 第8回本堂等改修専門委員会 建築業者を司設計事務所に決定

2010年7月には第21回本堂等改修専門委員会を開催し、設計図や見積もり等の内容について話し合いがありました。今後は、施工業者の選定・入札、本山への上申等がありますので、随時ご報告していきたく思います。

ご門徒の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします

本堂等の改修にあたって

旭川別院本堂等改修委員会
専門委員 主査 塚本信樹

この度「宗祖親鸞聖人750回御遠忌」を記念し、本堂等の改修計画が企画され、2008年5月の院議会で「旭川別院本堂等改修委員会」の設立が承認され、当院責任役員以下17名の構成員をもって同年6月に発足いたしました。



別院は大正9年に岩手県大船戸の宮大工 花輪喜久藏氏が設計し、建立され本堂としては東北・北海道で一番大きな建築物とされております。

建設以来90余年の年月が経っており、本堂内部の屋根、天上、床等が相当朽ちており、及び向拝柱の捻れも著しく、並びに床下の基礎、外壁についても同様で、「宗祖親鸞聖人750回御遠忌」を記念し改修することになりました。

改修工事にあたっての基本理念は、以前の改修等で花輪喜久藏氏が描いた設計図と見比べると著しく変形している事から、前記に係わる改修と元の形に復旧する作業を主目的としております。又、この工事に併せて真宗大谷派の様式と異なっている箇所修復等も考えております。

この工事にあたってはご門徒の皆様と一体となり又、一人一人の甚大なるご協力とご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

この工事に併せてお内陣の修復もいたしますが、完成後はきっとご門徒の皆様が目を見張るような姿に生まれ変わっている事と思います。

本紙に毎回登場している噂の“彼”について… その全貌が今!!

プロフィール

本籍 = 北海道旭川市宮下通2丁目旭川別院内
出身 = 旭川別院会議室
性別 = 男
役職 = 別院しらべ隊専属モデル

本名 = ちょうさん

モデル = 旭川別院2代目輪番 浅野識 師

身長 = 161 cm

体重 = 50 kg

視力 = 右 1.0

左 0.7

握力 = 右 52 kg

左 32 kg

胸囲 = 92 cm

胴囲 = 135 cm (メタボ)

足 = 右 28 cm

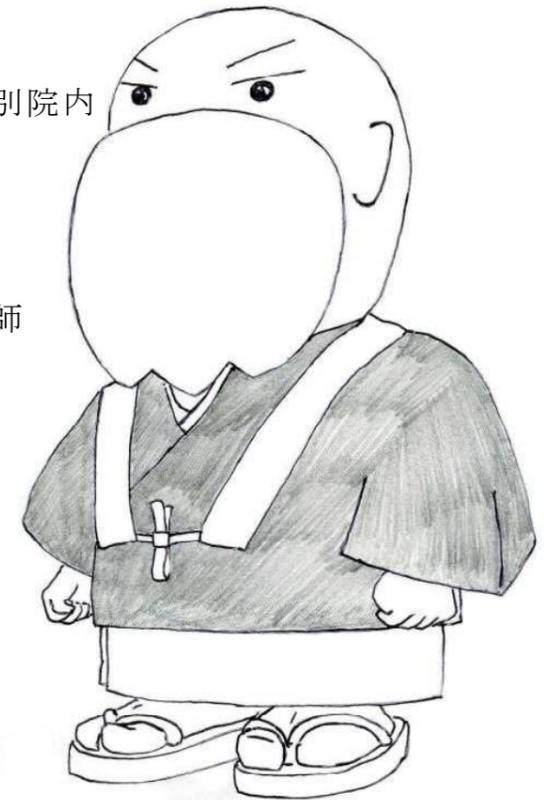
左 27 cm

体調 = 糖尿気味、尿路結石、快便、

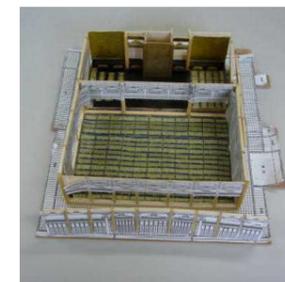
趣味 = キャンプファイヤー・盆栽

特技 = 変体

備考 = 名前の由来は「浅野識」師の名前の呼び方が解らない中、列座の某垣原君が「ちょうさんではないかな～」と言ってしまったため…



～ ～ ～ 1/100サイズの本堂を建設中 ～ ～ ～



旭川別院本堂模型制作は、別院しらべ隊調査員が皆様に本堂を隅々まで見ていただきたいという願いから始まりました。只今制作中ですので、完成しましたら報告させていただきます。

他己紹介

今更ですが「別院しらべ隊」の隊員を紹介します。この紹介文は自分自身を紹介するのではなく、他人（隊員）が紹介しております。当人の文章や意見は含まれていません。



名前 草部 俊裕（くさかべ としひろ）41歳
 性格 真面目・頑張り屋・やや綺麗好き
 特徴 自称愛妻家と名乗る・酒好き・童顔だけど白髪まじり
 * 「別院しらべ隊」立ち上げの第一人者！！いつも遅くまで調べ隊の調査をおこなっている。
 2人の娘さんがパパの帰りを待っているのでは…！？
 秘：別院しらべ隊マスコットキャラ【ちょうさん】の生みの親



名前 垣原 智章（かきはら ともあき）
 住所 3-6街
 性格 温厚・好みの女性以外は無視。
 特技 植物いじり・衝動買い
 好物 シュークリーム・コーラ
 * 基本的にはあんまり動かない。やる事が出来たり、興味のあることは全力で動く。たまに、お寺の事務所にいて、居眠りこいてます。



名前 横井 恵雄（よこい よしお）28歳
 性格 マイペース・なにげに優しい・アメリカンな性格（帰国子女のため）
 おちゃらけ
 特徴 恐妻家！？・こう見えて酒は一滴も飲めない・老け顔
 * いつも子供会では、子供にいじられ人気者！！子供との接し方がうまいのか！？結婚して3年たち、一児の親でもあります。



名前 長尾 宗隆（ながお むねたか）
 性質 お腹が弱い・牛乳消費率が高い（最高牛乳摂取量4ℓ）・わりと頑張り屋
 特徴 達筆・男前の顎・花粉症
 * 調べ隊に配属になったばかりの新人。「これからの別院しらべ隊は俺に任せる!!」と意欲満々であります。彼の活躍に期待したい。
 注：あまりプレッシャーをかけるとお腹が痛くなるので、皆さん優しく見守って下さい。



名前 高橋 彩（たかはし あや） 通称：社長
 性質 几帳面（度が超えていることも…）・一途（男前の芸能人に限る）
 特徴 動物が好き（犬等…）・多種多様で独特な趣味を持っている
 酒豪という噂がある
 * 男だらけの職場ではありますが、事務所においてご門徒との窓口として、また松崎氏横井氏のサポートとして活動中です。
 注：「別院しらべ隊」での彼女の発言は最も優先される。

本堂への思い

旭川別院本堂等改修委員会
 専門委員 水内 三郎



宗祖親鸞聖人750回御遠忌を記念し、旭川別院本堂等を改修することが決定。改修委員会が結成され、その専門委員に任命されました。

ご輪番をはじめ列座、役員、ご門徒の方々の話をお聞きし、浄土真宗の歴史を紐解いていくうちに、本堂は①「ご門徒及び住

民に開かれた聞法道場」であり、②「悩み・悲しみ・愚痴のこぼしあい、おしゃべり等をして（今、いのちがあなたを生きている）ことを学ぶ場」として、「なんの気遣いもなく出入りして戴くように」を念頭に置くことを教えられました。

本堂等改修の方向としては、90年余の過酷な風雪に耐えて来たが、傷みの激しい箇所修復とともに、「今後100年の間多くのご門徒に親しまれ、愛される本堂にする」との思いをこめて、設計事務所に依頼しました。

ところが、花輪棟梁の設計図と現本堂とで、違いのあることが判りました。また気仙の宮大工と札幌の設計事務所の方から、それぞれ異なる意見が出され、ご門徒の方からもちょっと異なっている箇所があると指摘されました。

本願寺が東西に分かれた際、西本願寺側から申し入れられた多くの制約、東本願寺で作られた「説教所及び末寺建設に関する規則」があること、同時に宮大工の地方色が取り入れられることがあることが判明しました。

しかし近年は、建設に関する規約や制約の解釈も変わってきていることを、本山でのお話を聞いて判りました。

そこで、設計事務所・気仙の宮大工及び専門委員の意見を調整し、旭川別院の本堂は、【建設当時の形態を継承する】ことを主眼としながらも、「真宗大谷派の別院」としての威厳を持った本堂、との思いをこめて改修を目指します。

100年の後世に恥ずかしくなく、また親しまれる本堂を残したいものと念じております。

旭川別院本堂仏具寄進 1920年 (大正九年) No.2



- ①阿弥陀堂用形御前卓 壹面
- ②金五百円也
- ③上木 弥一郎

- ①御上卓 壹面
- ②金八拾五円也
- ③石川 卯之吉

- ①祖师前・御代前 前卓 貳面
- ②金四百円也
- ③松井 倉藏

- ①余间用中央卓 壹対
- ②金八拾五円也
- ③高田 清三郎

- ①御经卓
- ②金貳拾五円也
- ③沢田 他作

- ①御经卓
- ②金貳拾五円也
- ③縄江 庄市

- ①经積卓
- ②金参拾五円也
- ③岡田 こと子



- ①御開山御厨子及須弥壇
- ②金九百円也
- ③林 徳次郎

- ①土香炉六寸 壹個
- ②金八円五拾銭也
- ③立野 大ま子

- ①土香炉六寸 壹個
- ②金六円也
- ③石田 よし

- ①土香炉六寸 壹個
- ②金八円五拾銭也
- ③浅野 くに

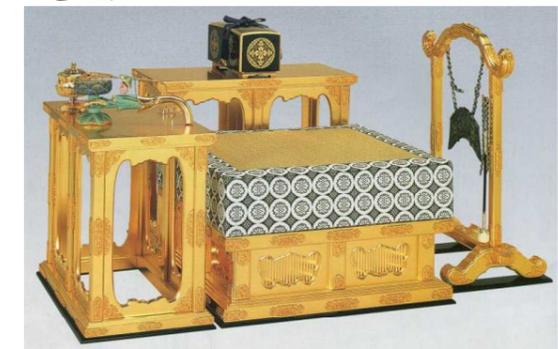


- ①土香炉青磁龍透し八寸 壹個
- ②金参拾円也
- ③岩木 岩太郎

- ①登高座用置 壹帳
- ②金八円五拾銭也
- ③吉竹 鶴吉

- ①磬 壹枚
- ②金七円也
- ③谷口 しげ

- ①持蓮華
- ②金壹拾貳円
- ③盛生 かう



寄附人
大正九年一月上院
大谷派本願寺旭川別院
當代輪番 浅野 誠
釋 慶喜 上木 彌一郎
釋 尼妙誠 上木 みさき

※ 各卓の裏には、寄進者のお名前が表記されています。現在でも当時の仏具を荘厳しております。

大正九年一月上院
大谷派本願寺旭川別院
當代輪番 浅野 誠
寄附人 釋 專意 石川 卯之吉
釋 尼妙海 石川 ハル

※ 当時の仏具と現在の仏具の値段を比較すると、当時の壹円は今では壹万円に相当することが解りました。

～ ～ ～ 見方 ～ ～ ～

- ①寄進して下さった仏具名
- ②大正九年当時の金額
- ③寄進者名 (敬称略)